

北広島商工会だより

平成29年 9月 1日号
第100号

会員の状況
(部会の重複加入あり)

会員	748名 (+ 7、- 3)
商業	455名 (+ 5、- 2)
工業	350名 (+ 2、- 1)
青年	58名 (+ 2、- 1)
女性	55名 (+ 0、- 0)

※+加入人数、-脱退人数

発行 北広島商工会事務局
責任者 事務局長 浜田 薫
〒061-1121

北広島市中央5-7-2

TEL 011-373-3333

FAX 011-373-3212

shokokai@kitahironavi.or.jp

http://www.kitahironavi.or.jp

★商工会だよりへの御社PR掲載、あるいはパンフレット・チラシ同封のご希望がありましたら、お気軽にお問い合わせください。(会員相互PR事業)

■商工会館建設準備委員会を設置

基本設計に向けて

昨年度、商工会館建設準備検討会議を設置し、将来の商工会館の機能や規模、建設財源などについて検討しました。本年3月には提言書としてまとめられ、会長に提出されたところです。

今年度は、この提言を踏まえた基本設計に向け、建設場所、建物の構造や配置、各階のレイアウト、備えるべき機能や設備、デザイン等の具体的検討を行うとともに、会館建設に向けた財源対策等の諸課題について検討する「商工会館建設準備委員会」を設置し進めます。

今後とも、会員の皆様には、商工会館建替えに対するご理解とご協力をお願いいたします。

【建設準備委員会の委員構成】

- 委員長 藤山康雄
- 副委員長 山田久俊
- 委員 富田辰夫
- 委員 鈴木陽一
- 委員 原田敏光
- 委員 西尾広美
- 委員 根岸敏子
- 委員 竹村画二
- 委員 服部健一



■きたひろしま開拓プロジェクト

委員会活動報告

きたひろしま開拓プロジェクト委員会(委員長竹村画二)では、7月8、9日に北海道初の全国ご当地キャラを集めた大規模イベント「ご当地キャラふれんどフェスティバルinとまこまい」に出展し、まいピーの出演で、中山久蔵翁・赤毛のPRを行いました。昨年のゆるキャラグランプリで道内1位の実績から、会場内のパレード行進では沿道から沢山の声援を頂きました。

また、8月5、6日に開催された北広島ふるさと祭りでは、まいピー出演のほか、赤毛の試食や団扇、シル、ポケットティッシュ配布によるPR活動を行いました。



平成25年1月にまいピーが誕生して以来、年間を通じて数多くのイベント出演を行ってきましたが、年々認知度も上がり、多くの方からお声がけや写真撮影をしていただいています。

今年度もゆるキャラグランプリ2017にエントリーをしています。すでにインターネットでの投票も始まり、11月には会場となる三重桑名・ナガシマリ

■きたひろしま開拓プロジェクト

様の投票による応援をよろしくお願いいたします。

ゆるキャラグランプリ投票は次のホームページアドレスにアクセスし「投票はこちら」をご確認願います。
<http://www.yurugp.jp>



工業部会(部会長 原田 敏光)

イチゴ狩り、温泉、ランチバイキングを堪能

7月1日、交流事業でイチゴ狩りなどを実施しました。

当日は天候に恵まれ、南の里の松原農園前に部会員や従業員、家族など39名が集まり、大西委員長の挨拶のあと入園。農園関係者によると昨年秋の天候不順により、イチゴの生育が悪いとのこと

でしたが、参加者はヘタを入れる紙コップを片手に小粒ながら赤く色づいたイチゴを摘み、初夏の味を堪能していました。

イチゴ狩り終了後、それぞれ札幌北広島クラッセホテルに移動し、昼食までの約1時間、温泉に

青年部(部長 西尾 広美)

交通安全街頭啓発運動を実施

当事業は毎年、道商工会青年部連合会が呼びかけ、各商工会青年部が交通事故防止を訴え、地域住民に一層の交通安全意識の浸透を図ることを目的として実施しています。また、交通遺児募金を「北海道交通遺児の会」へ寄付しています。

当青年部では7月20日に、JR北広島駅と道道江別恵庭線の交差点付近にて、交通量が増加する日没前に、ドライバーの方に安全運転の意識を持ってもらえるように旗を振りながら交通事故防止を訴えました。



第39回北広島ふるさと祭り

子供盆踊りと仮装盆踊りを運営

8月5日、6日に開催された市観光協会主催の第39回北広島ふるさと祭りではビールやフランクフルトなどの出店と、子供盆踊り、仮装盆踊りの運営に協力しました。

両日とも天候に恵まれ、子供盆踊りでは北広島ふるさと太鼓保存会の盆太鼓にあわせ、約550人の子供たちが

新会員紹介

元気な踊り、参加賞として一人一人に手持ち花火セットを手渡しました。仮装盆踊りには市内外から9組37名が参加。トランプ大統領や3D映画キャラクターのミニオンズ、日本ハムファイターズのユニフォームを着てかぶり物をするなど様々な仮装で来場者を楽しませていました。



- 〇 商業部会
 - 〇 明治安田生命保険相互会社外交 武田 実樹 様
 - 〇 三井住友海上 長谷部 羊介 様
 - 〇 (有)エス・エー・ジー グレースK2 203号室 千歳市新富2-16-22
 - 〇 高橋 一彦 様
 - 〇 大曲幸町6-11 インターヴィレッジ大曲2F
 - 〇 Utoca 加藤 誉 様
 - 〇 中央5-7-15
 - 〇 (株)夕陽 回転寿し銀次郎北広島店 笹沼 祐介 様
 - 〇 中央3-7-7
 - 〇 工業部会
 - 〇 (製造業) 田中 重利 様
 - 〇 エムテック 輝美町7-1 A15-202 松本 浩貴 様
 - 〇 大曲末広3-21-16

●おもてなし交流事業体験

〈道内視察研修〉

7月2日、3日で道内視察研修を実施。今回は全国商工会女性部連合会が実施している「おもてなし交流事業」を利用し、白老町商工会女性部のプランを体験。11名が参加しました。

おもてなし交流事業は、その地域で商売、生活をしている女性部員だからこそ知っている、隠れた魅力(食・名所・自然・景観・施設・産業・伝統・文化)などの「いいところ」や「いいもの」を取り入れた「おもてなしプラン」(着地型旅行や体験型観光)を地元女性部が提案。女性部の視察研修や親睦旅行の際に利用できるよう、全国商工会女性部連合会が全国の女性部に対して情報発信・PRを行い、部員同士の交流を図ることを目的にしています。

北海道では13の商工会等が提案し実施しています。なかでも白老町商工会女性部の提案する「食材王国しらかい満喫&アイヌ文化を学ぶ体験研修」では、道内外から毎年十数件の受入をしているとのことでした。

1日目は洞爺湖の遊覧船内で昼食をとった後、伊達、室蘭を視察してから、夕方に白老町アイヌ民族博物館に到着。現地では白老町



白老町商工会女性部員8名の出迎えを受けました。部員の方と館内やアイヌ文化の解説と古式舞踊公演を見学。アイヌ文化に触れながら部員同士の交流を深めました。

2日目は白老町商工会の熊谷女性部長とともに町内をめぐり、白老町の特産品お買い物ツアー。タラコや椎茸のつめ放題体験や地元のお店を見学。昼食では特産の白老牛の焼肉を楽しみながら白老町商工会女性部員の方たちと交流を深めました。

今回の研修で「おもてなしプラン」を利用したことにより、他の商工会女性部の活動を知ることができました。おもてなし交流事業を北広島でも行うとしたら、どのようなプランを提供できるのか改めて自分のまちの魅力を考える機会となりました。

要請書

謹啓 時下、ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。日頃より、若年者の雇用対策につきまして、特段の御理解と御協力を賜り、心からお礼申し上げます。さて、求人が増加傾向にあることから、有効求人倍率は本年度において、一・〇四倍と統計を開始した昭和三十八年以降初めて年度として一倍を超えるなど、道内の雇用失業情勢は改善が進んでいる状況にあります。このことは、新規高等学校卒業者の求人枠の拡大に対する皆様の深い御理解と御協力の賜物であり、心から感謝申し上げます。しかしながら、道内での就職を希望しながら、未内定のまま卒業する生徒は未だに少なくなく、また、新規卒業生の早期離職率も依然として高止まりしている状況にあり、卒業段階でのミスマッチによる早期離職の解消が喫緊の課題となっております。こうしたことから、石狩振興局、石狩教育局、北海道高等学校長協会石狩支部及び北海道特別支援学校長会石狩支部といたしまして、相互の緊密な連携のもと、新規卒業生が適切に職業選択を行い、卒業後、安定的に働くことができるよう、労働条件を的確に伝え、情報も併せて提供いただくなど、より良質な求人確保する取組を進めていくところであります。つきましては、傘下企業等に対して、新規高等学校卒業者の採用枠の確保と積極的な企業情報の発信、今春未内定のまま卒業した者に対する就職機会の拡大、若者の人材育成の推進について、御理解と御協力を賜りたく、特段の御配慮をお願い申し上げます。御また、障害のある生徒が通う特別支援学校高等部におきまして、生徒の就労先の確保等が重要な課題となっており、障害のある生徒の雇用の促進等に関する法律に基づき、障害のある生徒の雇用の促進についても特段の御配慮を賜りますようお願い申し上げます。 謹言

平成二九年八月二二日

北広島商工会会長 様

- 北海道石狩振興局長 福井 宏行
- 北海道教育庁石狩教育局長 馬橋 功
- 北海道高等学校長協会石狩支部長 後藤 哲
- 北海道特別支援学校長会石狩支部長 田近 和憲

パッケージデザインコンテスト対象商品募集

北海道産業局では、デザイン活用の重要性や知的財産としての権利保護の必要性を多くの方々に知っていただくことを目的に、北海道内の食品や日用品を対象に優れたパッケージデザインを広く募集し、展示する「パッケージデザインコンテスト北海道2017」を実施します。

全国から募集するパッケージデザインの対象商品として、販売促進やブランド化を目指す北海道内の企業等の商品を次のように募集しています。



■募集期間

平成29年8月23日から平成29年9月8日

■募集条件・応募方法等

専用WEBサイトをご覧ください

<http://www.hkd.meti.go.jp/hokip/package2017/index.html>

■問合せ先

・パッケージデザインコンテスト北海道2017事務局 (株)ノヴェロ内)

TEL 011-281-6631 10:00~17:00(土・日・祝除く)

・経済産業省北海道経済産業局

地域経済部産業技術課知的財産室

TEL 011-709-2311(内線2586) 8:30~17:15(土・日・祝除く)

「情報モラル経営セミナーin北海道」開催のお知らせ

急速に進歩する通信技術の活用によって、企業が扱う情報は飛躍的に拡大し、有益な情報も多い一方、インターネットの悪用や顧客情報の漏洩、誹謗中傷など様々なトラブルが発生しており、企業が予期せずトラブルに遭遇してしまうことも増加しています。

このことから、下記のセミナーが開催されますのでぜひ、ご参加ください。

■開催日時

平成29年9月8日(金) 13時~17時

■開催場所

札幌全日空ホテル 3F 鳳
札幌市中央区北3条西1丁目2-9

■テーマ

企業に求められる情報モラルと人権への配慮
~個人情報の適切な取り扱いと情報アクセシビリティの効果的な進め方~

■定員 100名(参加費無料)

■申込方法

<http://www.j-moral.org/hokkaido> から

■問合せ先

公益社団法人ハイパーネットワーク社会研究所(担当:原田・宍戸)

<http://www.hyper.or.jp> TEL 097-537-8180

